

平成24年度  
実施事業

事務事業名	食育事業
-------	------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	1	市民の主体的な健康づくり意識の確立
小分類	1	健康づくり運動の推進
主要な施策	2	②食を通じた健康づくりの推進
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	子育て世代等を対象に食育指導を行うことにより、食生活習慣の大切さを啓発し、生活習慣病の予防を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	乳幼児期の子を持つ母親や学童期の親子等を対象に、食に関する講話や調理実習、また、試食や親同士の交流などを通し日ごろの食生活の悩みに応える栄養相談・栄養教室を実施した。 【事業実績】 ・もぐもぐ食育広場 年4回実施 参加数108人 ・へるしー講座 年4回実施 参加数40人 ・食育親子料理教室 年3回実施 参加数56人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	食習慣の基礎が確立する時期において、適切な栄養の知識や調理方法を知ることは、将来にわたる健康づくり、生活習慣病予防につながることから、事業を継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	母子保健法・健康増進法

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	12	24	16	16	16
一般財源	名称	千円	221	304	237	237	237
事業費 合計			233	328	253	253	253

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① もぐもぐ食育広場	人	目標値	75	100	100	100	100
			実績値	62	108			
	② へるしー講座	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成24年度以前、もぐもぐ食育広場は3回実施していたが、タイムリーに参加できない対象がいた。	もぐもぐ食育広場の回数を4回に増やし、タイムリーに参加してもらうよう改善したことで参加者数も増加。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 母子保健法・健康増進法より、市民が健康な食生活を過ごすために、市は市民の健康づくりを推進していく役割があることから委託できる事業ではない。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 乳幼児を持つ母親からの食生活の悩み(食事のリズム・偏食・小食等)が日ごろ聞かれることから、事業を推進していく必要がある。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 事業を行う上で必要最小限のコストとして実施しており効果をあげている。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 事業に参加したことで家族全員の食生活の見直しと改善のきっかけとなっている。その後も機会あるごとに適切な食生活を送れるように継続して支援している。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	定期的な食生活習慣の基礎が確立される乳児期から、子育て中の世代に支援することは、家族全員の食生活の見直しへ波及し家族全員の健康づくりにもつながることから継続していくことは必要である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)